



あつぎ・森の里九条の会

2023年5月

～今を新たな戦前にさせない～

結成：2009年

代表：平川高人 電話：090-3338-7027 編集：事務局/今村考三 046-248-0632

例会

6月4日（日）
10：00～12：00
森の里公民館3F会議室

懇談会・ビデオ

9条改憲、原発、ウクライナ侵略戦争、物価高、地域の問題などについて話し合い、共感し合いませんか。

8月より例会は、毎月3日曜日から第1日曜日に変更しました。

5月7日（日）

「9条改憲、原発、ウクライナ侵略戦争、物価高、地域の問題などについて話し合いませんか？」

2016年放送のテレビ朝日「報道ステーション」、『ドイツ ワイマール憲法の「教訓」なぜ独裁が生まれたのか』のビデオを見て、現在の日本の状況について考えました。

▼当時のドイツが、今の状況にピタッと当てはまって恐ろしい。

▼今の日本は歴史に学んでいない。

▼この頃の「報道ステーション」はまだ健全だった。

▼国民を代表して話してくれた人たちが（ニュースキャスター）が、第一線から離れていった。

▼国民のためではなく、自衛隊の基地を守るため、核攻撃にも耐えられる基地強化工事を行っている。

▼マスクミは言いたいことが言えない状況だ。

▼自民党の緊急事態条項は、「内閣は法律と同等の効力を有する政令を制定することができる」として

▼民主主義の基本は法の支配で、人の支配ではない。

▼長野県出身の憲法学者、芦部信喜は、次のように指摘している。ワイマール憲法は当時世界で最も優れた憲法だったが、ヒトラーが骨抜きにした。ドイツを教訓にせよ。日本人は権力に畏服する、強いものに惹かれる国民性を持っている。

▼若い人たちに今日のようなビデオを見てほしい。

▼日本会議がイデオロギー的に自民党を裏で支えている。

▼イギリスのチャールズ国王の戴冠式では、反対派50数名が逮捕された。

▼天皇制は存続させる価値があるのか。

▼WBCでは全てのチャンネルがそれだけに集中した。反省してほしい。

▼チャットGPTは考え方を機械に任せてしまう。これは問題だ。

▼日本人は忘れやすい。モリ・カケ・サクラ・旧統一教会問題はどうかになっているのか。政権は国民がそれらのことを忘れるのを待っている。

▼裁判所は政治判断をしない。本来の役目として、裁判所が警告しなければならぬ。

▼近現代史が十分教えられていない。

▼東京有明防災公園の憲法集会は、参加者が主催者発表で25000人だった。以前の憲法集会では、パレードのため会場から出るまでに相当時間がかかったが、今年はパレードではなく、駅に向かった参加者が多かった。

▼国民性の話が出たが、自分の頭で考え行動する必要がある。

▼ウクライナの美しい自然と穀倉地帯が破壊された。誰が元に戻すのか。

▼戦争をやらないようにするにはどうすればよいのか。国民一人一人が考えるべきだ。

▼国民性の話が出たが、自分の頭で考え行動する必要がある。



バラ：ダブリン ベイ 花菜ガーデン(平塚市)

スタンディングのお知らせ

日時：6月18日（日）

10:00～11:00

場所：スーパー三和前

★どなたでもお気軽に

参加大歓迎です。

★手作りの表示板の用意

あります。

例)「キシダ政治を許さない！」

「9条壊すな！」

「NO WAR！」



トイレットペーパー

金平茂紀氏(69)は講演の中で、私淑、師事した先達として坂本龍一、ジョン・レノン、筑紫哲也、大江健三郎らを挙げた。思想的には相容れないだろう鈴木邦男とは、幾度か会い、気持ちに合うところがあつたようだ。彼は「ヘイトスピーチとレイシズムを乗り越える国際ネットワーク」共同代表も務めた。ほかにナオミ・クラインは「ショックドクトリン」を著している。読んでみたい。

金平氏の話で印象に残った言葉は「少数派を恥じることはない」「辛い時こそユーモアを忘れずに笑い飛ばすことがレジスタンス」と。昨年暮れ、取材でモスクワを訪れ、手に入れたのがトイレットペーパー。プーチンの顔をカラーイラストし脇にキリル文字で「プーチン」と記す。モスクワっ子が得意とするアネクドット(逸話)やブラックユーモアに持ってこいだ。ウクライナに侵攻し、無辜の民を殺しているプーチンにはあ

またのごますりやこびへつらう者がいるのだろう。国際人道法違反と言えるプーチンには泥を塗るより、糞尿で笑い飛ばすのがふさわしい。

栗生将信

スタンディングに想う

もう何回目の参加になるでしょう。手作りのボードを胸にスパー三和の前に立ち、胸の高まりを静めて九条ニュースを渡し始める。

無言で受け取ってくれる人、「ご苦労さま。」と言ってくれる人、「読んでますよ。」と言ってくれる人、などなど。

先日ニュースを渡そうとしたらいきなり、「あんた考えが間違っているよ。」と言われ、ショックを受けました。その時私は何も言えず、ニュースを渡すことができませんでした。私の胸には「戦争はダメ、憲法九条を変えちゃダメ」の文字が書かれています。

本当に九条を変えていいのか、その先には岸田政権が企む戦争への道が待っていることを考えよう。私たちの力は

微力ですが、これからも平和のために声を上げようと思えました。

平川弘子



左の意見広告は、5月3日に朝日新聞、信濃毎日新聞、読売新聞に掲載されたものです。あつぎ・森の里九条の会も賛同金送りしましたので、名前が出ていました。同じ日、朝日新聞には憲法共同センタ

の意見広告、『平和とくらしをまもりつづける社会が願いです』『大軍拡、改憲への「大転換」はいやです』が掲載されました。

※事務局では皆さんからの一言を募集しています。身近なエピソードやつぶやき、森の里のトピックスなど、何でもよいのでお寄せ下さい。先にお配りした葉書もご利用ください。

戦争回避が政治の役割!

大軍拡・改憲に反対します。



この意見広告は、「市民意見広告運動」を検索すると見られます。